



日本カトリック看護協会会報

No. 9

発行者 井深八重子 (本部) 東京都新宿区下落合 260 聖母病院内

編集者 場崎ひろ子 (編集部) 東京都北多摩郡清瀬町 ベトレヘムの園内 TEL 清瀬~26

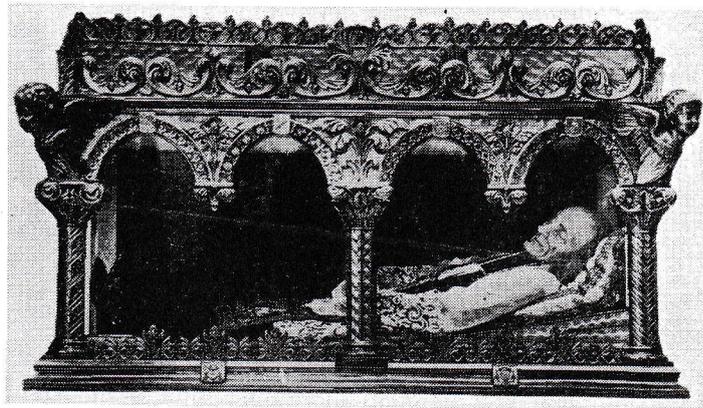
1959. June

霊的講話

聖母に関する

聖ヴァンネの言葉

野口 神父



聖ヴァンネの遺骸

(本年は聖ヴァンネの帰天より百年になりますので、同聖人を記念すると共に聖母に対する信心を深めるために、この聖人の言葉の一部を記します。)

父と子と聖霊の三位は、童貞聖マリアを喜び眺め且つ想い給う、彼女は汚れなく、至聖三位の意にかない、心をひく凡ての美德を持つておられる。

聖マリアの至つて潔く、至つて美しく、至つて善なる御心こそは三位一体の御業であり、この上もなき歡喜である。善なる天主は、今の世界よりもつと善い世界を御創りになれた。しかし聖マリアより優れたものを創り得給はなかつた。御父は童貞聖マリアの御心を御業の傑作として眺めて喜び給う。至聖童貞は御孕りの時から凡てに満ち溢れ、そして聖寵の大海原こそは彼女が歩き給う道なのです。聖マリアの最初のいぶきは愛のいぶきであつたが、その最後のいぶきも正に愛のいぶきであつた。

「汝 天主のみを完全に愛せよ」という第一の掟を聖マリアほど実行した人はない。至聖童貞、この美しいマリアの清らかさは天主の正義を宥める。聖母の御心はこの上もなく慈愛に満ちている。それにくらべると凡ての母親の心を集めても、それは目の前におかれた一塊の氷に過ぎない。イエズス・キリストは与えられ得る凡てのものを私達に与えて後、最も貴重な宝物を相続させて下さつた。それは聖母である。童貞聖マリアは二度私達を御産みになつた。御子の御托身の時と十字架の下に立ち給うた時である。

凡ての聖人達は童貞聖マリアに大きな信心を持っていた。聖マリアの御手を経ないでは、如何なる恵も天から来ないからである。聖ベルナルドは次のように云つた。自分は説教によるよりも、天使祝詞を誦えることによつてもつと沢山の靈魂を改心させた。

看護婦と病院 House keeping

元結核予防会保健部長 井上泰代
医 学 博 士



病院の第一のそして最終の目的は予防という事だと言われている。それだけに病院に於いては種々の病原体に依る伝染防止の点を重視しているし、特に看護の任にある者は患者教育や自らの看護技術を通して、消毒や無菌手技の厳守を強調している。

然し病原菌、病原菌を持つ患者、そして之等の病原菌を撒き散らす媒介者と云う三つのものが病院という一つ屋根の下に存在している限り余程しつかりした防禦の砦を築いて対戦する努力が続けられない以上伝染防止は完全に遂行出来ない。それには私共は先づ伝染の起り易い危険な区域とそこへ出入して菌を所々に持ち運ぶ人々の事を考えねばならない。病原菌の集まっている最も危険な場所は、云うまでもなく、患者の極く近い周囲であり、患者の身に触れている寝具衣類、病室内の部分や備品等で、此の危険区域内に出入する凡ての人は菌の仲介者と見做してよいと思う。

そして出入する人々は医師であり、看護婦であり、雑役に従する House keeping 備であり、病院の勤務者の凡てであるし、それに患者を見舞う訪問客も含まれる訳である。この様な人々に依つて若し適当な防禦が講じられていないとしたら病院中は病原体で汚染され、何時何処で病気が爆発するか分からない状態にされて了う虞れが起る。伝染予防が一番正しく理解され実行されている其の病院内で集団下痢や赤痢患者が発生したり、手術創の化膿等があつたりする事は、何処に原因があるかと云う事を考えさせられる。その原因となるものは幾つか存在すると思うがその中でも私が今日特にとり上げて強調したい点は病院職員中の誰れよりも一番この危険な区域で働き、最も危険性の多い汚染物の処理に當つており、而も医師や看護婦のように公衆衛生とか個人衛生の点に暗く、従つて消毒や無菌手技に就いても充分な知識を持ち合わせていないまま働いている危険さであり、またこの点にもう少し考慮を払われぬ不慮さである。換言すれば伝染防止に関しては医師や看護婦は相互にその重要性を認めており、其上充分な知識

を有しているけれど、雑役に従する House keeping は消毒とか無菌手技とかには殆んど無知と云つた人が多く、この様な知識的背景もない人々が絶えず完全な菌の媒介者として、病室から病室へと又その他の地区へ出入を続けているのである。此の点は House keeping 自体の反省とは云う訳ではなく、むしろ最も大切な点、即ち家政係の重要性を正しく認識していない病院全体の各々の反省が必要だと思ふ。Hospital House keeping は病院内の伝染防止と云う点では他のどの部よりも重大な役割を持つているにも拘らず案外それに属している人々の教育というのが実行されてないため、例えば床の掃除一つにしてもどういう理由かが余りよく理解出来ないで単に掃除をもつていてと云う結果として仕事に対して無頓着な事が多い。そして又此の無頓着さから思いがけなく病院の望んでいる伝染防止とは全然反対な結果の出るのも度々起つている。結核病院等で働く House keeping 備員はその疾患を恐れてはいるがそれに対して感染予防と云つた点、特に他人を守り又自分を守ると云う点で知識に欠けている。此のように特殊病院においても一般総合病院においても、病院の隅々まで勤務場所をもつ之等の人々に依つて病原菌は所々にばらまかれるのも考えられるし、又外来の種々の人達が持ち込む病原菌を病棟に運ぶ仲介者となるのも病院職員の他の職場の誰よりも遙かに多いのではないかと云う様に考えられる。

そこで私はこの様な人々と最も密接な関係にある私共看護の任にある者は消毒の点又無菌手技と云つた事も彼等の不十分さの責を彼等に課す前に私共が真に彼等を病院内の伝染防止チームの一員として扱つていたかを先づ反省すべきだと考える。もし私共がその心掛けであつたら各自の病棟内に於いての掃除のやり方即ち床の洗い方、消毒液の使用法、そして又掃除や汚物処理の扱つた後の手洗いやガウンやマスク等の取扱ひなどを教育している所であるし、それならば House keeping の人々に依つての病原菌仲介と云うのはなくなる事と思う。病院に依つては未だに House keeping と云うものもなく以前のように看護婦が幾分

その仕事をやつたり又 House keeping が存在していても看護課の配下に属している事もあるが、いづれの場合でも雑役を担当して呉れる人々は私共看護の任にある者にはなくてはならぬ共同作業者であり協力者なので、私共が自分達の職務遂行の上に必要な消毒、無菌手技、個人及び公衆衛生に注意すると同様に常に一諸に働く彼等にも同じく知識を分かち合い、指導的立場に立ち乍ら同時に親切な相談相手となつて以上の教育を徹底させる心構がなくてはならないと思う。種々の伝染性疾患が次々と発見され薬剤に依つて治療の面が非常に簡易になつたし、特に抗生物質等の出現で妙に効を奏する点で一般人がそれ等、使用出来る疾患に対してその伝染と云つた点に注意が薄らいて来たと云う感じがするのと又耐性菌の出現と云う点で治療は一般が考える程容易ではなくなつたので私共は今後尚一層伝染防止と云う事に注意を払はねばならない状態になつて来たと思ふべきだと思ふ。伝染予防の手段は沢山あつてそのうちの一つで充分ではなく、また伝染予防と云う事は或一部分の人達に依つて守られる事で充分だと云うものでもない。

病院勤務者全体が伝染防止の一つのチームとなつて伝染防止の手段を実行する事にあると思うがその中でも上述した様に病院の清潔と云う点に責任をもつて働いている House keeping 所属の人々と共に働く看護婦は予防手段に関しての教育を怠らないと同時に伝染の危険の最も多い区域や物品はもう一歩自ら進んで管理し、そして常に相談相手であり、指導者であるよう心掛ければ病院内に於ける伝染防止と云う事も左程困難な問題ではなくなる事だと思ふ。私共の看護婦としての仕事は常に患者に対しての看護技術の施行や衛生教育のみに止つてはいけぬ。日々同じ場所でも共に働くこうした人々のよき指導者となり得よう努力をしなければならぬ。伝染防止の主旨が House keeping の人々に徹底される事は看護課と家政係との間に理解と協力がつくるチームワークに依つてされる筈だと考える。どんなに有効な薬剤が出現して、治療が簡易になつたとしても治療よりも予防は遙かに優れたものである事とその効果は私共看護の任にある者の協力なしには出来ない事を忘れ度くない。

× × ×

支部たより

北海道支部便り

第一回 札幌支部例会

1958年11月10日 P.M. 7~9

於 天使短大合同教室

出席者 指導司祭 浅井神父様
札幌西保健所 金野先生
北大病院 稲村先生
天使病院 藤田先生
会員、学生 75名

- 挨拶 例会開催に当って
支部長 斎藤和子姉
- 聖書研究 ロマ書(解説 浅井師)
- 講演 「水と電解質、ホルモンの関係」 金野先生

終了後会員よりアンケートをとる。聖書研究は少し難しかった様子。講演はテーマもみんなに耳新しく好孝心を刺戟された。

第二回 札幌支部例会

1958年12月15日 P.M. 7~10

於 天使短大図書室

出席者 浅井神父様 藤田先生
会員40名

- 聖書研究 ロマ書 浅井師
- 水と電解質の臨床 「シンポジウム」
内科病棟 住吉けい子
外科病棟 小西静子
小児科病棟 三浦貞子
結核病棟 小笹幸子
産婦人科病棟 吉田谷弘子

各場に於ての臨床例を挙げて話し合う。質問続出。指導の藤田先生の非常に参考になるお話しがあり、興味がもり上つてつきるところを知らずといつた具合で、非常に有意義な集合であつた。

第三回 札幌支部例会

1959年1月26日 P.M. 7~10

於 天使短大図書室

出席者 浅井神父様 会員30名
ロマ書研究

2. 座談会 司会 永山洋子

さきにアンケートをとつて、日頃信者生活の中で疑問に思つていたことなど質問。

- 例 1. 不思議なメダイについて
2. 幼児洗礼について
3. 信者と未信者の祈りの効果について

第四回 札幌支部例会(2月16日)

1. ロマ書研究
2. 座談会(前回について)
指導 浅井神父様
司会 永山洋子、金谷富美子

第五回 札幌支部例会(3月16日)

1. ロマ書研究
2. 症例研究 「術後の腸管麻痺について」 産婦人科病棟 小倉良子

第六回 札幌支部例会(4月20日)

出席者 浅井神父様 会員30余名

1. ロマ書研究
2. 臨床指導の研究
マリア・ヘドヴィチス童貞様

新卒業生を対象にしての研究だつた。よく理論の裏付をもつた実技の中に自信をもつて、常に自ら学ぶ態度を失うことなく、内面的にも優れたナースになる様、お互いに励み合つて、修練を怠らない様に致しましょうと、何か明るい前途を思つて誓い合う。新卒のチームもみな頬を紅潮させて「やりましょう。」と、とても嬉しそうだつた。

第七回 札幌支部例会(5月19日)

- 出席者 会員、学生45名
1. 看護研究 ゴム製品の取扱方の反省
学生 平間理子
 2. 幻燈

「無原罪の聖母マリア」の幻燈の病室での説明の仕方を、マリア・ヘドヴィチス童貞様から御指導頂く。

(編集部付記)
札幌支部の今迄の7回に亘る活発な例会の一括報告を頂きましたので掲げます。

東京教区支部だより

大変御無沙汰致しました。各支部の状況を誌上で拝見しながら東京教区支部の状況はちつとも報告致しませんと相済みません。

東京支部は五つのグループを持ち、毎月各グループで例会を致して居ります。

3月は合同で桜町病院に於て1日の黙想会がございました。支部の指導司祭は野口神父様が御指導下さいまして、約50名の参加がございました。去る6月7日は聖母女子短期大学に於て支部総会を開催致しました。70名以上の出席者がありました。午前9時半開会。小関会長の挨拶があり。10時から慶応大学精神科の三浦岱栄先生の「看護婦の精神衛生」と云う講演がございました。結論は看護婦が精神的に健康であれば自分を平和に保ち、接する患者にもそれを与えることが出来ることと云うこととございました。又、ピオ十二世の医学に関する御回勅も御説明下さいました。午後1時からベトレヘムの園のミルサン神父様に霊的講話をしていただきまして、「愛とくるしみ」について看護婦として実際の面にどうすべきかについて具体的によく説明して下さいまして、一同は今後の生活に適用しなければならぬと決心致しました。又カトリック系外の病院で働いている看護婦を出来るだけ援助し、信仰的に助けてあげるようにとの御希望がございました。午後2時中外製薬の提興で「肝臓」と云う映画を観賞し、医学的病理学的面の勉強になることも多くありました。そのあと、親睦会にうつりなごやかな中で支部会計報告、支部情況報告、つづいて各グループ情況報告を致しました。午後4時野口神父様による御説教と聖体降福式の予定でございましたが、やむをえぬ御都合で取りやめました。JCNA 総指導司祭のクレメント神父様が親睦会に御出席下さいました。今年の総会の決議として会員はカトリック病院で働く多くのカトリック

写真解説 看護技術 医学書院 編

本書は看護学院に専任の教員として教鞭をとる中堅の先生方が自ら学び、研究し工夫された看護の技術に関する解説を、眼で視ることによつて覚える方法をとつて編さんされたもので、細かくゆきとどいた基本的看護技術の良い書で、此の種の出版物としては最も新しく優秀なものと思ひます。学生も又働く看護婦の方々もこの技術を写真を通して眼で視ることによりおぼえ、更に次には自分達の手によつてやることによつて確実に自分のものにして下さることを希望します。(本書厚生省看護参事官 金子光序文より)

A5判 400頁 写真701 950 医学書院刊

写真で見る 各科手術別 手術器械の準備

国立東京第一病院中央手術室 編

外科、整形外科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻科における様々な手術に際し、看護婦の準備すべき手術器械のセットを鮮明な写真によつて図示。手術場の看護婦にとつて最も必要なそして難しい手術器械の準備を経験の浅い人にも、器械の名前も覚えていない学生にも出来るようにした生きた教科書。

改訂第2版 B5判 130頁 写真106 700 医学書院刊

ナースを出来るだけ援助し、立派な信仰生活がお出来るようになるように働きかけることを一同決心致しました。午後4時半聖母病院内の聖堂で一同聖体降福式にあぶり午後5時閉会致しました。一同よるこびと感謝のうちに看護婦としての召命をあらたに致しました。今後の発展のためにお互にあ祈りと努力を致しましょう。

大阪支部便り

各グループで毎月集会をして居ります。各連絡のあつた2支部のみ報告いたします。

A. 姫路グループ 4月19日

P.M. 2.30~3.30

出席者 三人の神父様 会員30名

1. J.C.N.A.のP.R.を行う

今回は他所の一般の看護婦さんを招待して、シスターからJ.C.N.A.について概略を話して頂く。その時一般病院とカトリック系の病院に於いての差異、特に産児制限の話に及ぶ。

2. 聖書研究 使徒行録(20章20節から)集会后、二名の入会希望者があつた。

B. 神戸グループ 4月26日

P.M. 1~2.30

出席者 指導神父様 シスター他10名

1. 症例研究発表「一般術前後の処置について」

2. 聖書研究 使徒行録

教皇聖下から表彰

J.C.N.A.会長 井深八重子姉

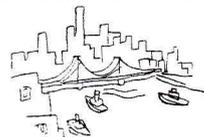
このたび創立70周年を祝つた神山復生病院総婦長、井深さんは40年に亘つて、数らいに尽した功績により、教皇ヨハネ23世から聖十字架を受けた。

クレメント神父様御帰国

J.C.N.A.総指導司祭クレメント神父様は半年の休暇を得て6月6日故国オーストラリアからお帰りになつた。

カナダに於ける

看護婦について



先ず始めに、私達は、日本とカナダの比較をするつもりではないことを申し上げたいと思います。私達はたゞ、もし皆さんがカナダのカトリック病院に看護婦として働らきにいらしたら、御覧になると思われる相違や、又、多くの共通点についての概念をお伝えしたいと思つて居ます。そこで、今、二人の日本人の看護婦さん、仮に堀田さんと菊地さんということに致しますが、カトリック病院で働いている所を見るために、皆さん、私達と一諸にいらして下さい。病院は、便宜上、私が学生として実習した病院、そして又、卒業後には看護婦として働いた病院を選びました。他の病院では、それぞれ方法などにいくぶん相違があります。

看護婦が病院へ来ますと、それぞれ、これから働くところへ案内されます。皆さん、堀田さんは産科病院で、菊地さんは外科病院で働くように決められたものと想像しましょう。先ずはじめに、二人は病院内を案内されます。

地階には外来、X線室、中央材料室、霊安室、薬局、調理場そして看護婦の食堂などがあります。一階には、聖堂、修院、事務所、医局、看護婦更衣室、理学療法室、記録保存室、検査室などにあてられています。二階は内科、三階は手術室と外科病室、四階は小児科、内科、外科の病室で、五階は分娩室、入院から分娩までの部屋があり、これと整形外科です。

二人が各自の勤務場所についたもので、皆が夜勤報告のために集つて居ます。病棟婦長と日勤看護婦の殆んど全員がおります。

菊池さんがこれから働く外科病棟に

はいベッドが32あります。部屋は大部屋とセミ・プライベートの部屋があります。セミ・プライベートの部屋は、個室にベッドが二つずつ入っているものです。日勤の人数は、普通三人の看護婦と二人の学生です。夜勤は三年生の学生か又は看護婦が一人です。夜勤は、日勤の看護婦に各自の患者について、完全な報告をします。勤務交代は、午前7時半、午後4時、午後11時30分、に行われますので、最後の交代以後に起つたことを全て報告します。例えば医師の来診、新しく出された指示、どの患者が手に入るか、X線室に入るか、どのような準備がなされなければならないか、などを報告せねばなりません。

此の報告が終了すると、各々の看護婦はどの患者を受け持つか、又、誰が投薬或いは注射をするか等がいい渡されます。その病棟に臨床指導者のいる場合はその人が学生に投薬させます。しいない場合は看護婦がそれをさせます。その後朝食のトレイをさげ、それからモーニング・ケアを致します。ここでは、患者は三つのグループに分けられています。起きて自分で出来る人、ベッドの中で出来る人、看護婦がしてあげなければならない人です。安静患者には毎日全身清拭を致します。ベッド整頓は清拭の時に致します。その後、包帯交換その他の措置を致します。包帯交換は、二つの例外を除いて、常に看護婦が医師の指示に従つて致します。それはdry dressing のこともあればmoist dressing のこともあり又、薬剤を用いることもあれば用いないこともあります。(つづく)

(TCNA 東京支部 "Cumem" より転載)

医学看護学用語辞典 日・独・英

大塚病院 酒井哲哉

本書は看護婦学生諸君の、各科の学習の副読本として、又各科に勤務する看護婦諸姉がすぐに役立つようにABC順による辞書の形式をとらず、その使用目的に従つて記載した。

新書判・330頁・1958・¥500・東京文京本郷 医学書院

▶本書に於いては、用語の発音を示す方法として、初学者の便利の為に、用語にふりがなをつけた。外国語の発音をかなで表現することは、元来が無理であり、正確な事は期し得ないが、学習者は、之をもととして正しくは先輩、医師の御教示を仰ぐようお願いしたい。

▶ドイツ語の変母音(äöü)は表現する方法がないのでやむを得ずエ、エーと記す。

▶本文に於いては日本語、英語、ドイツ語の順に記し、英語の次に;を打ちドイツ語との別を示した。